

役員会議事録（第62回）

日時：平成18年 2月 1日（水）15時00分～17時40分

場所：役員会議室

出席者：平山健一 学長、齋藤徳美 理事（学術担当）、玉真之介 理事（学務担当）、
大野眞男 理事（地域連携担当）、菊地俊彦 理事（財務・労務担当）

議 題

1. 平成17年度国立大学法人岩手大学第2次補正予算について
菊地理事から、「国立大学法人施設整備費補助金等実施事業の平成17年度補正予定事業」として内示を受けた次の事業について、本学の学内予算に組み入れるための第2次補正予算を組む必要がある旨が述べられ、資料1に基づき提案があった。
 - ①アスベスト対策関連
吹き付けアスベスト等含有施設のアスベスト除去対策事業
 - ②耐震化対策
附属小学校校舎改修事業（1期）（改修4,230㎡、増築290㎡）審議の結果、役員会として第2次補正予算を組むことを決定した。
2. 経営協議会（第8回）の議題等について
学長から、2月17日（金）開催予定の第8回経営協議会の議題等について協議したい旨が述べられ、資料2に基づき提案があった。
審議の結果、学則改正案については教学に関わる内容であることから報告事項に、財務計画については今後の検討の進捗状況を勘案し提案時期を学長に一任することとした。
なお、出願状況及び在籍者数を報告することとした。
3. その他
齋藤理事から、今般の総人件費改革への対応として、教員の削減が避けられない状況が生じてきたことを鑑み、岩手大学の教育目標に照らした、開講科目の特化・整理も含む適正なカリキュラムの編成、及び専任教員の担当講義の分担による非常勤講師の削減などについて、組織改編の動きも視野に入れて早急に検討をすべきとの提案があり、担当理事の主導の下に、部局及び関係委員会などで検討を進めることとした。

報 告

1. 平成16事業年度における剰余金の使途の承認について
菊地理事から、文部科学大臣へ承認申請していた平成16事業年度における剰余金の使途について、申請どおり承認があった旨の報告があった。
2. その他
なし